

2023年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年3月10日

上場会社名 株式会社 光・彩 上場取引所 東
 コード番号 7878 URL <https://www.kohsai-qq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深沢 栄二
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 今井 一貴 (TEL) 0551-28-4181
 定時株主総会開催予定日 2023年4月21日 配当支払開始予定日 2023年4月24日
 有価証券報告書提出予定日 2023年4月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年1月期の業績 (2022年2月1日～2023年1月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年1月期 | 3,358 | 12.3 | 3 | △71.0 | 33 | 86.7 | 27 | △7.7 |
| 2022年1月期 | 2,989 | 41.3 | 13 | — | 17 | △57.7 | 30 | 22.7 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年1月期 | 74.16 | — | 2.2 | 1.3 | 0.1 |
| 2022年1月期 | 80.30 | — | 2.4 | 0.7 | 0.4 |

(参考) 持分法投資損益 2023年1月期 一百万円 2022年1月期 一百万円

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年1月期 | 2,608 | 1,299 | 49.8 | 3,474.52 |
| 2022年1月期 | 2,456 | 1,280 | 52.1 | 3,420.97 |

(参考) 自己資本 2023年1月期 1,299百万円 2022年1月期 1,280百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年1月期 | △252 | △25 | 214 | 448 |
| 2022年1月期 | △15 | △68 | △88 | 508 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年1月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 | 14 | 49.8 | 1.2 |
| 2023年1月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 | 14 | 53.9 | 1.2 |
| 2024年1月期(予想) | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 | | 21.4 | |

3. 2024年1月期の業績予想 (2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純 利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,450 | 2.7 | 80 | — | 80 | 140.1 | 70 | 152.3 | 187.10 |

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-----------|----------|-----------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年1月期 | 396,000 株 | 2022年1月期 | 396,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年1月期 | 21,859 株 | 2022年1月期 | 21,782 株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年1月期 | 374,168 株 | 2022年1月期 | 374,221 株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 当期の財政状態に関する分析 | 3 |
| (3) 次期の見通し | 4 |
| (4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 貸借対照表 | 5 |
| (2) 損益計算書 | 8 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (持分法損益等) | 15 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績に関する分析

当事業年度（2022年2月1日から2023年1月31日まで）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の日本国内における7月以降の第7波および10月以降の第8波による感染者数の再拡大、ならびに中国における12月以降の感染者数の再拡大等に加え、ウクライナ情勢の長期化に伴う世界的な原材料価格およびエネルギー価格の高騰等、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社が属するジュエリー業界におきましては、店舗販売・催事販売などが再開し、行動制限がない中で5月の大型連休を迎えたこともあり、回復傾向にあるものの、イベント開催の動員数縮小や消費行動の自粛傾向により、市場環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、業績拡大の為の各種施策を実施してまいりました。主力のジュエリーパーツ事業では特許商品および新商品ピアスパーツを中心に国内外で好調に推移したことにより前事業年度に比べ増収いたしました。ジュエリー事業では独自技術加工によるブライダル商品の販路拡大に注力いたしましたが、物価上昇が影響する消費者マインドの冷え込みなど厳しい事業環境が影響し、前事業年度に比べ減収となりました。

利益面においては、原材料である地金やダイヤモンドの高騰および電力をはじめとする製造経費全般の急激な価格高騰を受け製造原価が上昇する一方、当事業年度内の製造原価上昇分の販売価格への転嫁が遅れ、営業利益は前期を下回る結果となりました。

なお、急激な円安に伴う為替差益を営業外収益に計上したことから、営業利益は前期を下回ったものの、経常利益では前期を上回る結果となりました。

以上のような事業活動の結果、当事業年度の業績は売上高3,358百万円（前事業年度比12.3%増）、営業利益3百万円（同71.0%減）、経常利益33百万円（同86.7%増）、当期純利益は27百万円（同7.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態に関する分析

① 財政状態の分析

【資産・負債・資本の状況】

(流動資産)

当事業年度末の流動資産の残高は、1,936百万円（前期比124百万円増）となりました。主な変動要因は現預金が86百万円減少しているものの、売上高の増加による売上債権の増加23百万円、自社加工シェアを上げるため柔軟な生産を可能とするために棚卸資産が188百万円増加したことによります。

(固定資産)

当事業年度末の固定資産の残高は、671百万円（前期比27百万円増）となりました。主な変動要因は所有する株式の株価高騰による投資有価証券の増加によるものです。

(流動負債)

当事業年度末の流動負債の残高は、1,233百万円（前期比155百万円増）となりました。主な変動要因は買掛金は150百万円の減少となったものの、短期借入金が313百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当事業年度末の固定負債の残高は、74百万円（前期比23百万円減）となりました。主な変動要因は長期借入金の約定返済による減少37百万円によるものです。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、1,299百万円（前期比19百万円増）となりました。主な変動要因は当期純利益の計上によるものです。

② キャッシュ・フローの分析

【キャッシュ・フローの状況】

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末の残高に対して59百万円減少し、448百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、252百万円（前事業年度は15百万円の支出）となりました。これは主に、棚卸資産の増加と仕入債務の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、25百万円（前事業年度は68百万円の支出）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得のための支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、214百万円（前事業年度は88百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものです。

尚、キャッシュ・フロー指標については次の通りです。

| | 2021年 1月期 | 2022年 1月期 | 2023年 1月期 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|
| 自己資本比率(%) | 52.9 | 52.1 | 49.8 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 37.7 | 36.4 | 63.3 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) | 12.2 | — | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) | 12.5 | — | — |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式(自己株式控除後)により算出しています。
2. キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを使用しています。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しています。
3. 2022年1月期および2023年1月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスとなっているため、記載しておりません。

(3) 次期の見通し

当社を取巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き正常化に向かうと見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化などの影響もあり、従来になく不透明感が高まっております。

このような事業環境の中、当社の経営目的である、「ジュエリー創りを通じてより良き世界を創る」を達成すべく、当社の独自技術のさらなる向上のための研究開発と設備投資を実施しながら、顧客のニーズを的確に捉え、安定した品質・コストの商品を提供し続けるとともに、生産性向上による製造原価の低減、売上原価上昇分の販売価格への転嫁を図ってまいります。

次期(2024年1月期)の通期業績につきましては、売上高3,450百万円(前期比+2.7%)、営業利益80百万円(前期比+1,989.7%)、経常利益80百万円(前期比+140.1%)、当期純利益70百万円(前期比+152.3%)を予想しております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施し、期末配当を年1回剰余金の配当として行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、昨年と同じ40円を実施する予定です。

尚、次期の配当につきましては、業績・財政状態に加え、設備投資計画、キャッシュフロー等を総合的に勘案して決定することとしたいと考えておりますが、当期の配当と同額の1株当たり40円の期末配当の実施を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を採用しております。今後の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年1月31日) | 当事業年度 (2023年1月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 535,460 | 448,553 |
| 受取手形 | 26,306 | 19,782 |
| 売掛金 | 354,517 | 384,609 |
| 商品及び製品 | 173,383 | 228,131 |
| 仕掛品 | 641,264 | 788,932 |
| 原材料及び貯蔵品 | 50,439 | 36,493 |
| 前払費用 | 8,348 | 13,920 |
| 未収消費税等 | 10,706 | 15,591 |
| その他 | 11,496 | 374 |
| 貸倒引当金 | △7 | — |
| 流動資産合計 | 1,811,915 | 1,936,390 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 885,721 | 871,097 |
| 減価償却累計額 | △716,254 | △711,275 |
| 建物(純額) | 169,467 | 159,821 |
| 構築物 | 36,280 | 37,370 |
| 減価償却累計額 | △34,250 | △34,584 |
| 構築物(純額) | 2,030 | 2,785 |
| 機械及び装置 | 523,983 | 554,281 |
| 減価償却累計額 | △442,107 | △460,630 |
| 機械及び装置(純額) | 81,875 | 93,650 |
| 工具、器具及び備品 | 271,257 | 275,203 |
| 減価償却累計額 | △252,262 | △260,578 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 18,994 | 14,624 |
| 土地 | 143,598 | 143,598 |
| リース資産 | 24,993 | 31,383 |
| 減価償却累計額 | △16,536 | △15,703 |
| リース資産(純額) | 8,456 | 15,679 |
| 有形固定資産合計 | 424,423 | 430,161 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 16,438 | 29,874 |
| ソフトウェア仮勘定 | 13,447 | — |
| 電話加入権 | 1,723 | 1,723 |
| その他 | 266 | 1,770 |
| 無形固定資産合計 | 31,875 | 33,369 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年1月31日) | 当事業年度 (2023年1月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 34,506 | 58,875 |
| 投資不動産 | 26,097 | 26,097 |
| 減価償却累計額 | △2 | △2 |
| 投資不動産（純額） | 26,094 | 26,094 |
| 差入保証金 | 681 | 681 |
| 保険積立金 | 100,305 | 100,305 |
| 繰延税金資産 | 25,680 | 20,052 |
| その他 | 1,100 | 2,200 |
| 投資その他の資産合計 | 188,367 | 208,208 |
| 固定資産合計 | 644,667 | 671,738 |
| 資産合計 | 2,456,583 | 2,608,129 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 331,993 | 181,348 |
| 短期借入金 | 554,600 | 868,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 80,640 | 37,890 |
| リース債務 | 3,650 | 4,169 |
| 未払金 | 75,684 | 85,630 |
| 未払費用 | 6,460 | 6,376 |
| 未払法人税等 | 4,451 | 22,400 |
| 前受金 | 933 | 7,789 |
| 預り金 | 19,343 | 19,432 |
| その他 | 218 | 247 |
| 流動負債合計 | 1,077,975 | 1,233,284 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 37,890 | — |
| リース債務 | 5,431 | 13,184 |
| 退職給付引当金 | 23,113 | 27,516 |
| 役員退職慰労引当金 | 31,983 | 34,183 |
| 固定負債合計 | 98,417 | 74,884 |
| 負債合計 | 1,176,393 | 1,308,168 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年1月31日) | 当事業年度 (2023年1月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 602,150 | 602,150 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 409,290 | 409,290 |
| その他資本剰余金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金合計 | 509,290 | 509,290 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 9,918 | 9,918 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 5,000 | 5,000 |
| 繰越利益剰余金 | 182,001 | 194,780 |
| 利益剰余金合計 | 196,919 | 209,698 |
| 自己株式 | △31,218 | △31,662 |
| 株主資本合計 | 1,277,140 | 1,289,475 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,048 | 10,484 |
| 評価・換算差額等合計 | 3,048 | 10,484 |
| 純資産合計 | 1,280,189 | 1,299,960 |
| 負債純資産合計 | 2,456,583 | 2,608,129 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日) | 当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 製品売上高 | 2,960,892 | 3,321,163 |
| 商品売上高 | 29,091 | 36,848 |
| 売上高合計 | 2,989,984 | 3,358,012 |
| 売上原価 | | |
| 商品期首棚卸高 | 2,280 | 1,948 |
| 製品期首棚卸高 | 156,229 | 171,434 |
| 当期商品仕入高 | 18,775 | 25,000 |
| 当期製品製造原価 | 2,556,595 | 2,923,344 |
| 合計 | 2,733,881 | 3,121,728 |
| 他勘定振替高 | 2,159 | 2,424 |
| 商品期末棚卸高 | 1,948 | 3,012 |
| 製品期末棚卸高 | 174,887 | 233,073 |
| 製品評価損 | 3,452 | 7,953 |
| 売上原価合計 | 2,558,339 | 2,891,172 |
| 売上総利益 | 431,645 | 466,840 |
| 販売費及び一般管理費 | 418,451 | 463,011 |
| 営業利益 | 13,193 | 3,828 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 598 | 634 |
| 受取地代家賃 | 1,748 | 1,798 |
| 貸倒引当金戻入額 | 1 | 7 |
| 為替差益 | 4,587 | 28,789 |
| 助成金収入 | 3,490 | — |
| 雑収入 | 1,185 | 2,693 |
| 営業外収益合計 | 11,611 | 33,923 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,518 | 4,202 |
| 不動産賃貸原価 | 227 | 75 |
| その他 | 2,207 | 150 |
| 営業外費用合計 | 6,953 | 4,429 |
| 経常利益 | 17,851 | 33,321 |
| 特別利益 | | |
| 投資不動産売却益 | 2,014 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 14,817 |
| 特別利益合計 | 2,014 | 14,817 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 2,667 |
| 特別損失合計 | 0 | 2,667 |
| 税引前当期純利益 | 19,866 | 45,472 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,267 | 15,298 |
| 法人税等調整額 | △13,450 | 2,426 |
| 法人税等合計 | △10,183 | 17,724 |
| 当期純利益 | 30,049 | 27,747 |

製造原価明細書

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日) | | 当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日) | |
|----------|----------|--|------------|--|------------|
| | | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) |
| I 材料費 | | 2,087,312 | 77.5 | 2,415,222 | 78.6 |
| II 労務費 | | 299,571 | 11.1 | 297,512 | 9.7 |
| III 経費 | ※1 | 305,723 | 11.4 | 358,057 | 11.7 |
| 当期総製造費用 | | 2,692,607 | 100.0 | 3,070,792 | 100.0 |
| 仕掛品期首棚卸高 | | 505,094 | | 641,264 | |
| 計 | | 3,197,701 | | 3,712,057 | |
| 仕掛品期末棚卸高 | | 642,768 | | 787,418 | |
| 仕掛品評価損 | | 1,504 | | △1,514 | |
| 他勘定振替高 | ※2 | △159 | | △220 | |
| 当期製品製造原価 | | 2,556,595 | | 2,923,344 | |

| 前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日) | 当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日) |
|--|--|
| ※1. 経費には次のものが含まれております。 外注加工費 189,772千円 減価償却費 39,104千円 ※2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。 製品製造原価振替高 △159千円 計 △159千円 3. 原価計算の方法 単純総合原価計算を採用しております。 | ※1. 経費には次のものが含まれております。 外注加工費 223,305千円 減価償却費 45,854千円 ※2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。 製品製造原価振替高 △220千円 計 △220千円 3. 原価計算の方法 単純総合原価計算を採用しております。 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|--------------|-------------|-------|-------------|---------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | |
| | | 資本準備金 | その他 資本剰余金 | 資本剰余金 合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金 合計 |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益 剰余金 | | |
| 当期首残高 | 602,150 | 409,290 | 100,000 | 509,290 | 9,918 | 5,000 | 166,920 | 181,839 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △14,969 | △14,969 |
| 当期純利益 | | | | | | | 30,049 | 30,049 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | — | 15,080 | 15,080 |
| 当期末残高 | 602,150 | 409,290 | 100,000 | 509,290 | 9,918 | 5,000 | 182,001 | 196,919 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|-----------|----------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 当期首残高 | △31,194 | 1,262,084 | 1,877 | 1,877 | 1,263,962 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △14,969 | | | △14,969 |
| 当期純利益 | | 30,049 | | | 30,049 |
| 自己株式の取得 | △24 | △24 | | | △24 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | 1,171 | 1,171 | 1,171 |
| 当期変動額合計 | △24 | 15,055 | 1,171 | 1,171 | 16,227 |
| 当期末残高 | △31,218 | 1,277,140 | 3,048 | 3,048 | 1,280,189 |

当事業年度(自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|--------------|-------------|-------|----------|-------------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金 合計 |
| | | 資本準備金 | その他 資本剰余金 | 資本剰余金 合計 | | 別途積立金 | 繰越利益 剰余金 | |
| 当期首残高 | 602,150 | 409,290 | 100,000 | 509,290 | 9,918 | 5,000 | 182,001 | 196,919 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △14,968 | △14,968 |
| 当期純利益 | | | | | | | 27,747 | 27,747 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | — | 12,779 | 12,779 |
| 当期末残高 | 602,150 | 409,290 | 100,000 | 509,290 | 9,918 | 5,000 | 194,780 | 209,698 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|-----------|----------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 当期首残高 | △31,218 | 1,277,140 | 3,048 | 3,048 | 1,280,189 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △14,968 | | | △14,968 |
| 当期純利益 | | 27,747 | | | 27,747 |
| 自己株式の取得 | △443 | △443 | | | △443 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | 7,435 | 7,435 | 7,435 |
| 当期変動額合計 | △443 | 12,335 | 7,435 | 7,435 | 19,770 |
| 当期末残高 | △31,662 | 1,289,475 | 10,484 | 10,484 | 1,299,960 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日) | 当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 19,866 | 45,472 |
| 減価償却費 | 53,176 | 60,387 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 103 | 4,403 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 2,200 | 2,200 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △17 | △7 |
| 受取利息及び受取配当金 | △599 | △1 |
| 投資不動産売却損益 (△は益) | △2,014 | — |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △14,817 |
| 支払利息 | 4,518 | 4,202 |
| 助成金収入 | △2,220 | — |
| 為替差損益 (△は益) | △2,432 | △3,905 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △15,194 | △23,567 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △162,108 | △188,470 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 127,896 | △150,645 |
| 未払債務の増減額 (△は減少) | 18,075 | 6,660 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | △16,681 | △4,885 |
| 破産更生債権等の増減額 (△は増加) | 17 | — |
| その他 | △16,865 | 5,955 |
| 小計 | 7,719 | △257,017 |
| 利息及び配当金の受取額 | 599 | 1 |
| 利息の支払額 | △4,483 | △4,168 |
| 助成金の受取額 | 6,440 | — |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △26,131 | 9,182 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △15,854 | △252,003 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △13,000 | △10,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 25,454 | 37,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △90,225 | △46,857 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △18,921 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 20,008 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17,336 | △5,987 |
| 投資不動産の売却による収入 | 26,459 | — |
| その他 | 195 | △1,100 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △68,453 | △25,857 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 11,200 | 313,400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △80,640 | △80,640 |
| 自己株式の取得による支出 | △24 | △443 |
| リース債務の返済による支出 | △4,213 | △3,326 |
| 配当金の支払額 | △14,925 | △14,940 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △88,602 | 214,049 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,432 | 3,905 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △170,477 | △59,906 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 678,938 | 508,460 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 508,460 | 448,553 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引については、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工代相当額等を純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当事業年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当事業年度の売上高は21,926千円減少し、売上原価は21,926千円減少しましたが、営業利益、経常利益、税引前当期純利益に変更ありません。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社の事業セグメントは、当社の事業単位のうち分離した財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にリング・ペンダント等のジュエリーアクセサリ工程を取り扱うジュエリー事業部と、イヤリングパーツ・クラスプ等の半製品工程を取り扱うジュエリーパーツ事業部の2つの事業セグメントから構成されております。

しかし、当社の事業セグメントはいずれも貴金属製品として、その経済的特長、製品の製造及び販売方法、対象となる市場及び顧客等は概ね類似するため、これらを集約し「ジュエリー事業」を単一の報告セグメントとしております。

【関連情報】

前事業年度(自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。なお、「ジュエリー事業」においては、主にリング・ペンダント等のジュエリー製品とイヤリングパーツ・クラスプ等半製品のジュエリーパーツ製品の2つの商品群を製造・販売しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | その他 | 合計 |
|-----------|---------|-----------|
| 2,683,468 | 306,515 | 2,989,984 |

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の氏名又は名称 | 売上高 |
|-------------------|---------|
| (株)エフ・ディ・シー・プロダクツ | 397,991 |

(注) 当社は単一セグメントとしているため、関連するセグメント名は記載を省略しております。

当事業年度(自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。なお、「ジュエリー事業」においては、主にリング・ペンダント等のジュエリー製品とイヤリングパーツ・クラスプ等半製品のジュエリーパーツ製品の2つの商品群を製造・販売しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | その他 | 合計 |
|-----------|---------|-----------|
| 2,891,943 | 466,068 | 3,358,012 |

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

売上高に対する割合が10%を超える顧客が無いため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日) | 当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 3,420.97円 | 3,474.52円 |
| 1株当たり当期純利益 | 80.30円 | 74.16円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日) | 当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日) |
|------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益(千円) | 30,049 | 27,747 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 30,049 | 27,747 |
| 期中平均株式数(株) | 374,221 | 374,168 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。